

2014年3月4日

報道関係者各位

農業生産法人株式会社みちさき
株式会社仙台銀行
公益財団法人三菱商事復興支援財団

仙台市被災塩害地域における大規模養液栽培事業支援について

農業生産法人株式会社みちさき（以下、みちさき）は、仙台市などの補助金、株式会社仙台銀行（以下、仙台銀行）の融資支援に加え、この度、公益財団法人三菱商事復興支援財団（以下、三菱商事復興支援財団）から1億円の出資を受け、仙台市宮城野区蒲生地区に大規模養液栽培施設を完成致しました。本日、3月4日（火）に完成式を開催し、全工程自社設備による、安全で新鮮な青果物の本格出荷を開始致します。

みちさきは、東日本大震災後、被災農業者の雇用促進と先進的な農業のモデル確立を目的に設立された農業生産法人です。2013年7月、仙台市宮城野区蒲生地区の約4haにわたる被災塩害農地に葉類用2棟、トマト用1棟、いちご用1棟（計4棟）の大型養液栽培ハウスを建設し、生産を開始しています。この度、三菱商事復興支援財団の支援により、各ハウスに包装・衛生管理設備、保冷庫を有する出荷施設が完成したことで、青果物の鮮度を保ち、出荷コントロールや注文への即時対応、廃棄率の低下等、安全で効率的な青果物の出荷が可能となりました。これにより、出荷量及び売上高の増加を図るほか、20名の従業員を新たに雇用し地域の雇用創出にも貢献して参ります。

みちさきは今後も、仙台市が進める東部地域の復興特区プロジェクト「農と食のフロンティア推進特区制度」の指定事業者として、地域の浄化センターの排熱を利用した省エネルギー型加温システムの導入や、青果物の加工事業により高付加価値化を目指す6次産業化にも取り組んで参ります。先進的な農業モデルを確立し、津波により塩害の影響を受けた被災地の農業復興や、次世代型の農業経営の実現に向けて注力していく考えです。

三菱商事復興支援財団は、被災塩害地域で先進的な農業のモデル確立と雇用創出を目指すみちさきの事業を力強く後押しするため、支援を決定致しました。東日本大震災からまもなく3年を迎えますが、津波により甚大な被害を受けた沿岸地域は未だ再建途上にあります。三菱商事復興支援財団は今後も、仙台銀行をはじめ地元金融機関と協働し、被災地域の産業復興・雇用創出、地域再生につながる事業の支援を継続して参ります。

◇「みちさき」の大規模養液栽培施設



宮城県仙台市宮城野区蒲生字細川 63

【参考】各社概要

1. 農業生産法人株式会社みちさき

- ①本社所在地 : 宮城県仙台市宮城野区蒲生字細川 63
- ②設立 : 2012年7月3日
- ③資本金 : 1700万円
- ④事業内容 : 養液栽培野菜生産、農産物加工、販売
- ⑤代表者 : 代表取締役 菊地 守

2. 株式会社仙台銀行 :

- ①本社所在地 : 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- ②設立 : 1951年5月25日
- ③資本金 : 224億85百万円
- ④事業内容 : 預金業務・貸出業務他
- ⑤代表者 : 取締役頭取 鈴木 隆

3. 公益財団法人三菱商事復興支援財団

- ①本社所在地 : 東京都千代田区丸の内二丁目3番1号
- ②設立 : 2012年3月(公益財団法人化は2012年5月)
- ③財団規模 : 60億円
- ④事業内容 : 修学が困難となった学生に対する奨学金の給付、復興支援活動に従事する非営利団体等への助成金の給付、その他被災地の産業復興・雇用創出等に資する事業
- ⑤代表者 : 会長 小林 健(三菱商事代表取締役社長)
副会長 鍋島 英幸(三菱商事代表取締役副社長)
代表理事 廣田 康人(三菱商事執行役員)

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

農業生産法人株式会社みちさき経営企画室注連内(シノワチ) TEL: 022-290-5727
仙台銀行地元企業応援部企画室 柴田 TEL: 022-225-8310
三菱商事復興支援財団広報担当竹田 TEL: 03-3210-9770